

東海地域における農林水産物・食品の 輸出促進について (データ編)



令和6年2月

東海農政局 経営・事業支援部 輸出促進課

目次



1. 農林水産物・食品の輸出実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.2～
2. 2022年の農林水産物・食品輸出額（品目別、国・地域別）・・・p.11～
3. 原発事故による諸外国・地域の食品等の輸入規制の緩和・撤廃・・・p.13～
4. 動物・植物検疫協議の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.15～
5. 輸出促進法に基づく適合区域の指定及び適合施設の認定・・・・・・・・p.17～



1. 農林水産物・食品の輸出実績

2023年1-12月 農林水産物・食品の輸出額（1月30日（火）公表）

2023年1-12月の輸出実績は、1兆4,547億円（対前年同期比+2.9%）と過去最高を更新しました。（2022年1-12月実績：1兆4,140億円）

	金額	前年差	前年比
1-12月累計 <small>（1-12月累計の少額貨物輸出額を含む）</small>	1兆4,547億円	+407億円	+2.9%

	少額貨物	前年比
1-12月	961億円	+25.2%

全体の状況（1-12月）

- 関係者からの聴き取りによると、2023年は、前年と異なりアフターコロナ下で、世界的に人々が外出して飲食する機会が増え、また円安も追い風となり、上半期の輸出実績は対前年同期比+9.6%と比較的順調であった。一方、下半期においては、ALPS処理水放出に伴い、中国等が輸入規制を行ったため、中国等向け輸出が大幅に減少した。1年間を通して見ると、昨年水準を若干上回った。
- 品目別の輸出額では、真珠は香港向け、緑茶は欧米向け、ビールは韓国向けが大きく増加した。一方で、水産物及び日本酒等は中国向けが大きく減少した。
- 国別の輸出額では、下半期に、中国向けが大幅に落ち込む一方、米国向けが高インフレの落ち着き等によりV字回復した。

品目別の状況（1-12月）

農林水産省
輸出・国際局

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額（増加率）	主な増加要因
真珠(天然・養殖)	+218億円（+92.0%）	昨春、4年ぶりに香港での国際見本市が開催されて以降、高品質で人気の日本産真珠の需要が喚起された。
緑茶	+73億円（+33.3%）	健康志向の高まり等を背景に、欧米を中心として抹茶など粉末茶の需要が増加。
ビール	+72億円（+66.6%）	ヒット商品効果により円安も相まって、韓国での需要が大幅に回復。
ソース混合調味料	+60億円（+12.4%）	アメリカ向けの在庫調整が落ち着き、日本食レストランの増加に伴う外食需要が回復。
牛肉	+58億円（+11.2%）	台湾、香港を中心に外食需要が回復。
ぶり	+55億円（+15.2%）	稚魚の池入量（生産量）が増加したため、昨年と比べて米国、アジア向けを中心に輸出が増加。
清涼飲料水	+55億円（+11.3%）	外出機会の増加や健康志向の高まりにより、清涼飲料水の需要が増加。

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額（減少率）	主な減少要因
ホタテ貝（生鮮等）	▲222億円（▲24.4%）	中国等による日本産水産物の禁輸措置の影響や、在庫状況を踏まえたバイヤーの買い控えにより、下半期に大幅減少。
さば	▲66億円（▲35.2%）	漁獲量の減少により、東南アジアやアフリカ向けの輸出が大幅減少。
日本酒	▲64億円（▲13.5%）	中国での景気後退や禁輸の影響を受けた日本食レストランの不調、米国での上半期のインフレ等により減少。
ウイスキー	▲59億円（▲10.6%）	中国での景気後退を受けた減少。
製材	▲27億円（▲29.5%）	米国で住宅ローン金利の高止まりにより、住宅市場が減速し、製材の需要も減少。

国・地域別の状況（1-12月）

輸出額の増加が大きい主な国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
香港	+279億円	真珠、ホタテ貝（調製）、たばこ
アメリカ	+123億円	緑茶、ホタテ貝（生鮮等）、ぶり
韓国	+94億円	ビール、ウイスキー、ソース混合調味料
台湾	+44億円	牛肉、アイスクリーム等氷菓、ソース混合調味料

輸出額の減少が大きい主な国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
中国	▲406億円	ホタテ貝（生鮮等）、ウイスキー、日本酒
マレーシア	▲40億円	粉乳、植物性油脂、さば
ベトナム	▲27億円	さば、植木等、清涼飲料水
エジプト	▲15億円	さば



	金額	前年差	前年比
12月単月	1,265億円	▲ 43億円	▲ 3.3%

品目別の状況（単月）

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額	主な増加国・地域
ソース混合調味料	+13億円	米国
緑茶	+12億円	米国
ビール	+11億円	韓国

輸出額の減少が大きい主な品目

品目	減少額	主な減少国・地域
りんご	▲ 36億円	台湾、香港
粉乳	▲ 17億円	ベトナム、シンガポール
なまこ（調製）	▲ 11億円	中国

国・地域別の状況（単月）

輸出額の増加が大きい主な国・地域

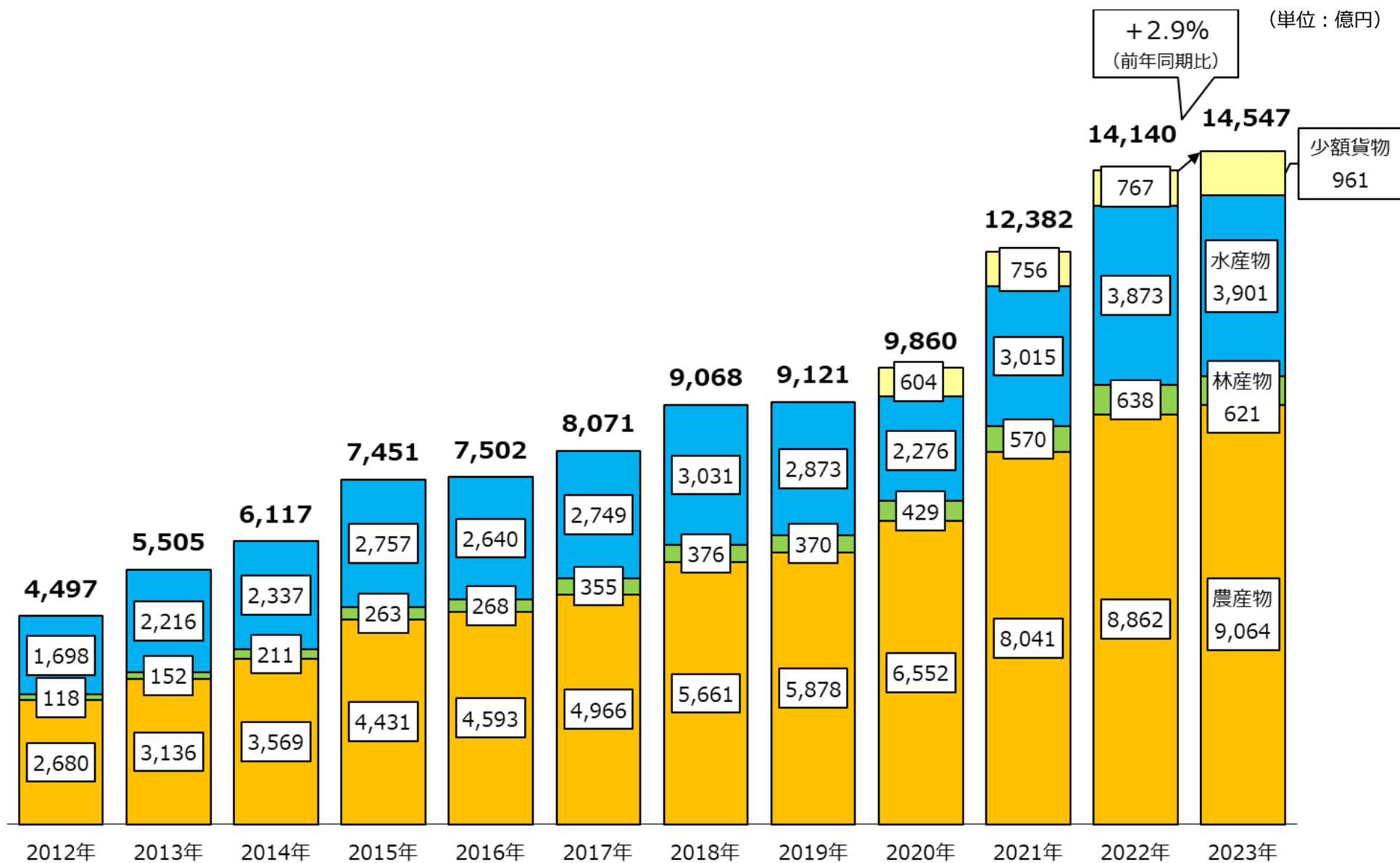
国・地域	増加額	主な増加品目
米国	+38億円	緑茶、ホタテ貝（生鮮等）、ソース混合調味料
韓国	+11億円	ビール
カナダ	+5億円	ホタテ貝（生鮮等）

輸出額の減少が大きい主な国・地域

国・地域	減少額	主な減少品目
中国	▲ 76億円	ホタテ貝、なまこ（調製）、ウイスキー
香港	▲ 27億円	りんご
台湾	▲ 15億円	りんご

農林水産物・食品 輸出額の推移

農林水産省
輸出・国際局



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2023年の農林水産物・食品 輸出額（1-12月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
加工食品	510,341	+1.0
アルコール飲料	134,958	▲ 3.0
日本酒	41,082	▲ 13.5
ウイスキー	50,120	▲ 10.6
焼酎（泡盛を含む）	1,641	▲ 24.4
ソース混合調味料	54,355	+12.4
清涼飲料水	53,670	+11.3
菓子（米菓を除く）	30,731	+9.8
醤油	10,048	+6.9
米菓（あられ・せんべい）	6,098	+10.8
味噌	5,067	▲ 0.2
畜産品	132,138	+4.2
畜産物	100,826	+4.1
牛肉	57,821	+11.2
牛乳・乳製品	30,789	▲ 3.6
鶏卵	6,987	▲ 18.2
豚肉	2,673	+14.9
鶏肉	2,557	+27.6
穀物等	66,735	+6.5
米（援助米除く）	9,411	+27.5
野菜・果実等	67,093	▲ 1.2
青果物	44,445	▲ 4.8
りんご	16,709	▲ 10.7
いちご	6,163	+17.6
ぶどう	5,169	▲ 4.1
ながいも	3,371	+25.3
かんしょ	2,898	+3.9
もも	2,609	▲ 10.0
かんきつ	1,329	+4.7
なし	1,191	▲ 11.5
かき	1,105	▲ 7.0

品目	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
その他農産物	130,142	+5.3
たばこ	18,073	+42.2
緑茶	29,186	+33.3
花き	8,130	▲ 11.1
植木等	6,225	▲ 15.7
切花	1,707	+12.8
林産物	62,065	▲ 2.7
丸太	23,108	+12.4
合板	9,824	▲ 11.1
木製家具	7,342	+6.6
製材	6,475	▲ 29.5
水産物（調製品除く）	300,717	+0.1
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	68,871	▲ 24.4
真珠（天然・養殖）	45,596	+92.0
ぶり	41,750	+15.2
かつお・まぐろ類	22,661	+27.0
さば	12,182	▲ 35.2
いわし	9,889	▲ 15.0
さけ・ます	6,758	+1.3
錦鯉	6,663	+5.7
たい	6,591	▲ 11.8
すけとうたら	1,798	▲ 41.3
さんま	233	▲ 18.4
水産調製品	89,346	+2.8
ホタテ貝（調製）	20,996	+24.9
なまこ（調製）	16,936	▲ 8.0
練り製品	10,429	▲ 15.0
貝柱調製品	405	▲ 89.6

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「牛肉」、「豚肉」、「鶏肉」、「鶏卵」、「かんしょ」、「かき」の金額、前年同月比はそれぞれの加工品を含む。

2023年の農林水産物・食品 輸出額（12月）品目別

農林水産省
輸出・国際局

品目	金額 (百万円)	前年同月比 (%)
加工食品	46,755	+1.7
アルコール飲料	10,865	▲ 4.2
日本酒	3,862	▲ 3.5
ウイスキー	2,711	▲ 25.5
焼酎（泡盛を含む）	136	▲ 27.8
ソース混合調味料	5,134	+33.3
清涼飲料水	4,546	+8.7
菓子（米菓を除く）	3,594	▲ 0.5
醤油	996	+33.8
米菓（あられ・せんべい）	873	+19.4
味噌	497	+22.5
畜産品	12,482	▲ 4.3
畜産物	9,509	▲ 11.5
牛肉	6,179	+3.3
牛乳・乳製品	2,228	▲ 42.0
鶏卵	622	+19.7
豚肉	249	▲ 5.3
鶏肉	232	+71.3
穀物等	6,539	+8.1
米（援助米除く）	1,052	+35.4
野菜・果実等	9,070	▲ 29.2
青果物	6,971	▲ 36.1
りんご	3,562	▲ 50.0
いちご	1,220	+6.0
ながいも	557	+18.4
かき	372	▲ 12.8
かんしょ	328	▲ 13.0
かんきつ	279	▲ 13.0
ぶどう	212	▲ 17.3
なし	47	▲ 60.6
もも	0	▲ 77.4

品目	金額 (百万円)	前年同月比 (%)
その他農産物	13,241	+15.9
たばこ	1,521	+6.8
緑茶	3,363	+52.1
花き	993	▲ 34.5
植木等	816	▲ 41.4
切花	155	+43.6
林産物	5,525	▲ 0.5
丸太	2,069	+24.0
木製家具	734	▲ 0.6
製材	649	+25.3
合板	590	▲ 48.7
水産物（調製品除く）	24,285	▲ 4.8
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	6,323	+2.7
ぶり	4,334	▲ 2.3
真珠（天然・養殖）	2,342	+7.6
かつお・まぐろ類	1,413	+8.4
錦鯉	1,297	+12.5
さけ・ます	555	▲ 65.8
いわし	514	+91.3
さば	492	▲ 38.8
たい	321	▲ 45.9
すけとうたら	142	▲ 48.1
さんま	38	+41.9
水産調製品	8,563	▲ 18.0
ホタテ貝（調製）	2,842	▲ 22.1
練り製品	1,120	+0.3
なまこ（調製）	936	▲ 53.3
貝柱調製品	36	▲ 88.8

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「牛肉」、「豚肉」、「鶏肉」、「鶏卵」、「かんしょ」、「かき」の金額、前年同月比はそれぞれの加工品を含む。

2023年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局

順位	2023年1-12月（累計）							2023年12月（単月）				
	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）			輸出額 （億円）	前年 同月比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	中華人民共和国	2,376	17.5	▲ 14.6	1,493	273	610	159	▲ 32.4	125	24	10
2	香港	2,365	17.4	+13.4	1,334	14	1,016	205	▲ 11.7	125	2	79
3	アメリカ合衆国	2,062	15.2	+6.4	1,383	67	612	196	+24.3	134	6	56
4	台湾	1,532	11.3	+2.9	1,161	41	330	192	▲ 7.4	142	4	46
5	大韓民国	761	5.6	+14.1	497	35	228	87	+14.1	52	3	32
6	ベトナム	697	5.1	▲ 3.7	452	7	238	73	▲ 3.1	45	1	27
7	シンガポール	548	4.0	▲ 1.1	453	6	88	53	+4.9	44	1	9
8	タイ	511	3.8	+0.9	256	10	245	46	+8.4	28	1	18
9	オーストラリア	310	2.3	+6.2	267	3	40	27	+0.2	23	0.3	3
10	フィリピン	306	2.3	▲ 2.6	151	118	37	22	▲ 23.5	12	8	3
-	E U	724	5.3	+6.4	618	19	87	68	+19.3	57	2	9

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2023年の農林水産物・食品 輸出額

農林水産省
輸出・国際局

	農林水産物	前年同月比	輸出額内訳		
			農産物	林産物	水産物
1月	747億円	▲5.1%	515億円	33億円	199億円
2月	1,089億円	+20.8%	724億円	47億円	318億円
3月	1,232億円	+11.6%	816億円	55億円	361億円
4月	1,248億円	+8.9%	786億円	56億円	406億円
5月	1,116億円	+5.9%	705億円	55億円	356億円
6月	1,258億円	+7.3%	780億円	60億円	418億円
7月	1,178億円	▲0.03%	786億円	55億円	337億円
8月	1,034億円	▲7.9%	698億円	48億円	288億円
9月	1,176億円	+3.1%	794億円	52億円	330億円
10月	1,133億円	▲9.5%	826億円	52億円	254億円
11月	1,111億円	▲8.6%	754億円	51億円	306億円
12月	1,265億円	▲3.3%	881億円	55億円	328億円
計	13,586億円	+1.6%	9,064億円	621億円	3,901億円

<少額貨物輸出額>

	少額貨物	前年同期比
1-6月	454億円	+25.9%
7-12月	507億円	+24.6%
計	961億円	+25.2%

※少額貨物…輸出入申告の際、1品目20万円以下の貨物に関しては「貿易統計」に計上されておらず、別途調査を行っている。(1-6月、7-12月の年2回集計)

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※少額貨物は財務省調査を基に農林水産省作成



(参考) 2023年の中国・香港向け農林水産物・食品の輸出額

【1-12月計】

	輸出額	前年差	前年比
中国向け農林水産物・食品の輸出額	2,376億円	▲ 406億円	▲ 14.6%
うち 水産物	610億円	▲ 261億円	▲ 29.9%
うち 魚介類（3類）※	438億円	▲ 279億円	▲ 38.9%
うち ホタテ貝（合計）	276億円	▲ 213億円	▲ 43.6%
うち ホタテ貝（生鮮、冷蔵、冷凍等）	259億円	▲ 208億円	▲ 44.6%
うち ホタテ貝（調製）	17億円	▲ 5億円	▲ 21.1%
香港向け農林水産物・食品の輸出額	2,365億円	+279億円	+13.4%
うち 水産物	1,016億円	+262億円	+34.7%
うち 魚介類（3類）※	186億円	▲ 16億円	▲ 7.9%
うち ホタテ貝（合計）	192億円	+50億円	+35.4%
うち ホタテ貝（生鮮、冷蔵、冷凍等）	51億円	+3億円	+5.9%
うち ホタテ貝（調製）	141億円	+47億円	+50.5%

【12月単月】

	輸出額	前年差	前年比
中国向け農林水産物・食品の輸出額	159億円	▲ 76億円	▲ 32.4%
うち 水産物	注1 10億円	▲ 46億円	▲ 82.3%
うち 魚介類（3類）※	1億円	▲ 35億円	▲ 97.4%
うち ホタテ貝（合計）	0億円	▲ 15億円	▲ 100.0%
うち ホタテ貝（生鮮、冷蔵、冷凍等）	0億円	▲ 13億円	▲ 100.0%
うち ホタテ貝（調製）	0億円	▲ 3億円	▲ 100.0%
香港向け農林水産物・食品の輸出額	205億円	▲ 27億円	▲ 11.7%
うち 水産物	79億円	▲ 13億円	▲ 14.4%
うち 魚介類（3類）※	14億円	▲ 7億円	▲ 33.1%
うち ホタテ貝（合計）	26億円	▲ 7億円	▲ 21.5%
うち ホタテ貝（生鮮、冷蔵、冷凍等）	5億円	▲ 2億円	▲ 31.5%
うち ホタテ貝（調製）	22億円	▲ 5億円	▲ 18.9%

※加工品（のり、寒天、魚粉等）、調製品、真珠等を除く水産物
※ホタテ貝（生鮮、冷蔵、冷凍等）を含み、ホタテ貝（調製）は含まない

（注1）水産物10億円の内訳は、真珠、さんご等

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

2. 2022年の農林水産物・食品輸出額（品目別、国・地域別）

（参考）2022年の農林水産物・食品輸出額 品目別

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
加工食品	505,139	+9.9
アルコール飲料	139,203	+21.4
日本酒	47,489	+18.2
ウイスキー	56,060	+21.5
焼酎（泡盛を含む）	2,172	+24.4
ソース混合調味料	48,380	+11.2
清涼飲料水	48,212	+18.8
菓子（米菓を除く）	27,991	+14.6
醤油	9,396	+2.8
米菓（あられ・せんべい）	5,503	▲ 2.4
味噌	5,077	+14.1
畜産物	126,821	+11.3
畜産物	96,816	+8.6
牛肉	52,019	▲ 4.0
牛乳・乳製品	31,926	+30.9
鶏卵	8,541	+42.3
豚肉	2,326	▲ 10.6
鶏肉	2,003	+0.6
穀物等	62,690	+12.2
米（援助米除く）	7,382	+24.4
野菜・果実等	67,897	+19.2
青果物	46,692	+22.2
りんご	18,703	+15.4
ぶどう	5,390	+16.4
いちご	5,242	+29.1
もも	2,897	+24.8
かんしょ	2,789	+12.6
ながいも	2,690	+16.3
なし	1,346	+40.1
かんきつ	1,269	+15.3
かき	1,189	+50.0

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
その他農産物	123,615	+4.9
たばこ	12,710	▲ 12.7
緑茶	21,891	+7.2
花き	9,143	+7.5
植木等	7,385	+6.6
切花	1,514	+12.7
林産物	63,758	+11.9
丸太	20,559	▲ 2.4
合板	11,054	+46.9
製材	9,191	▲ 5.8
木製家具	6,891	+26.6
水産物（調製品除く）	300,452	+28.7
ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）	91,052	+42.4
ぶり	36,256	+32.7
真珠（天然・養殖）	23,753	+39.1
さば	18,802	▲ 14.6
かつお・まぐろ類	17,850	▲ 12.6
いわし	11,630	+56.2
たい	7,475	+48.3
さけ・ます	6,675	+88.5
すけとうたら	3,061	+53.3
さんま	285	▲ 55.1
水産調製品	86,877	+27.8
なまこ（調製）	18,405	+18.6
ホタテ貝（調製）	16,807	+108.0
練り製品	12,265	+8.9
貝柱調製品	3,914	▲ 34.4

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「牛肉」、「鶏卵」、「豚肉」、「鶏肉」、「かんしょ」、「かき」の金額はそれぞれの加工品を含む金額。「青果物」、「かんしょ」、「かき」の前年同月比は加工品を除く金額で算出

※「ぶり」の金額はぶり（活）を含む金額。但し、前年同月比はぶり（活）を除く金額で算出

(参考) 2022年の農林水産物・食品 輸出額 国・地域別

農林水産省
輸出・国際局

順位	2022年1-12月（累計）							2022年12月（単月）				
	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）			輸出額 （億円）	前年 同月比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	中華人民共和国	2,782	20.8	+25.1	1,671	241	871	235	+18.0	159	21	55
2	香港	2,086	15.6	▲ 4.8	1,315	16	755	232	+8.6	138	2	92
3	アメリカ合衆国	1,939	14.5	+15.2	1,323	76	539	158	▲ 10.2	106	5	47
4	台湾	1,489	11.1	+19.6	1,102	41	346	208	+17.4	167	5	36
5	ベトナム	724	5.4	+23.8	500	9	216	75	+2.8	54	1	21
6	大韓民国	667	5.0	+26.6	378	44	244	77	+18.0	39	4	34
7	シンガポール	554	4.1	+35.3	451	6	96	51	+13.2	40	1	10
8	タイ	506	3.8	+14.9	262	9	235	43	+6.7	26	1	15
9	フィリピン	314	2.3	+51.6	135	150	29	29	+32.1	13	13	3
10	オーストラリア	292	2.2	+27.1	250	3	39	27	+3.8	21	0	5
-	E U	680	5.1	+8.2	535	16	129	57	+0.3	47	1	9

3. 原発事故による諸外国・地域の食品等の輸入規制の緩和・撤廃

原発事故に伴う諸外国・地域の食品等の輸入規制の概要

2024年1月24日現在

原発事故に伴い諸外国・地域において措置された輸入規制は、政府一体となった働きかけの結果、緩和・撤廃される動き（規制を措置した55の国・地域のうち、48の国・地域で輸入規制を撤廃、7の国・地域で輸入規制を継続）。

規制措置の内容／国・地域数※		国・地域名
事故後輸入規制を措置	規制措置を撤廃した国・地域 48	カナダ、ミャンマー、セルビア、チリ、メキシコ、ペルー、ギニア、ニュージーランド、コロンビア、マレーシア、エクアドル、ベトナム、イラク、豪州、タイ、ボリビア、インド、クウェート、ネパール、イラン、モーリシャス、カタール、ウクライナ、パキスタン、サウジアラビア、アルゼンチン、トルコ、ニューカレドニア、ブラジル、オマーン、バーレーン、コンゴ民主共和国、ブルネイ、フィリピン、モロッコ、エジプト、レバノン、UAE、イスラエル、シンガポール、米国、英国、インドネシア、EU、アイスランド、ノルウェー、スイス、リヒテンシュタイン
55	輸入規制を継続して措置 7	ロシア、仏領ポリネシア
	一部の都府県を対象に輸入停止 5	中国、香港、マカオ、韓国、台湾

※ 規制措置の内容に応じて分類。規制措置の対象となる都道府県や品目は国・地域によって異なる。

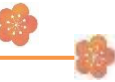
ALPS処理水の海洋放出に伴う諸外国・地域の食品等の輸入停止の概要

ALPS処理水の海洋放出に伴い諸外国・地域において以下の輸入停止が措置された。

規制措置の内容／国・地域数		国・地域名
海洋放出後輸入停止を措置 4	全都道府県の水産物を輸入停止	中国、ロシア
	10都県の水産物等を輸入停止	香港
	10都県の生鮮食品等を輸入停止	マカオ

※ この他、タイにおいて日本産水産物に対する輸入時の検査が強化されている。

原発事故による諸外国・地域の食品等の輸入規制撤廃の経緯



【規制措置が撤廃された国】

2023年8月15日現在

撤廃年	撤廃月及び国・地域名	撤廃年	撤廃月及び国・地域名	撤廃年	撤廃月及び国・地域名
2011年	6月：カナダ ミャンマー 7月：セルビア 9月：チリ	2017年	4月：カタール ウクライナ 10月：パキスタン 11月：サウジアラビア 12月：アルゼンチン	2022年	6月：英国 7月：インドネシア
2012年	1月：メキシコ 4月：ペルー 6月：ギニア 7月：ニュージーランド 8月：コロンビア	2018年	2月：トルコ 7月：ニューカレドニア 8月：ブラジル 12月：オマーン	2023年	8月：EU アイスランド ノルウェー スイス リヒテンシュタイン
2013年	3月：マレーシア 4月：エクアドル 9月：ベトナム	2019年	3月：バーレーン 6月：コンゴ民主共和国 10月：ブルネイ		
2014年	1月：イラク 豪州	2020年	1月：フィリピン 9月：モロッコ 11月：エジプト 12月：レバノン UAE※		
2015年	5月：タイ※ 11月：ボリビア	2021年	1月：イスラエル 5月：シンガポール 9月：米国		
2016年	2月：インド 5月：クウェート 8月：ネパール 12月：イラン モーリシャス				

※ タイ及びUAE政府は、検疫等の理由により輸出不可能な野生鳥獣肉を除き撤廃。

4. 動物・植物検疫協議の状況

動物検疫協議の状況（食品衛生に関する協議を含む）

- ・ 畜産物の輸出に当たっては、相手国の法令に基づき、食品衛生及び家畜衛生に関するリスク評価を受け、輸出条件について合意するなどの手続が必要。
- ・ これまで、牛肉について32か国、豚肉について6か国、家きん肉について9か国、家きん卵について11か国との間で、輸出条件に合意済み。
- ・ 実行計画に基づき、優先順位の高い品目・輸出先国（地域）に関する輸出解禁協議の他、輸出条件の緩和や、日本国内での家畜伝染病の発生に伴う輸出再開等について、引き続き関係省庁と連携して取り組む。

輸出解禁に向けた協議

- 中国向け牛肉、家きん肉、家きん卵、乳製品、ペットフード
- 韓国向け牛肉
- ロシア向け家きん肉、家きん卵
- フィリピン向け殻付き卵

輸出条件の緩和に向けた協議

- 台湾向け牛肉の月齢制限の撤廃
- 台湾向け家きん卵に関する地域主義*¹の適用
- シンガポール向け輸出施設の認定権限の委譲*²
- ロシア向け輸出施設の認定権限の委譲
- 各国向けスライス加工した食肉の輸出

輸出再開・継続に向けた協議

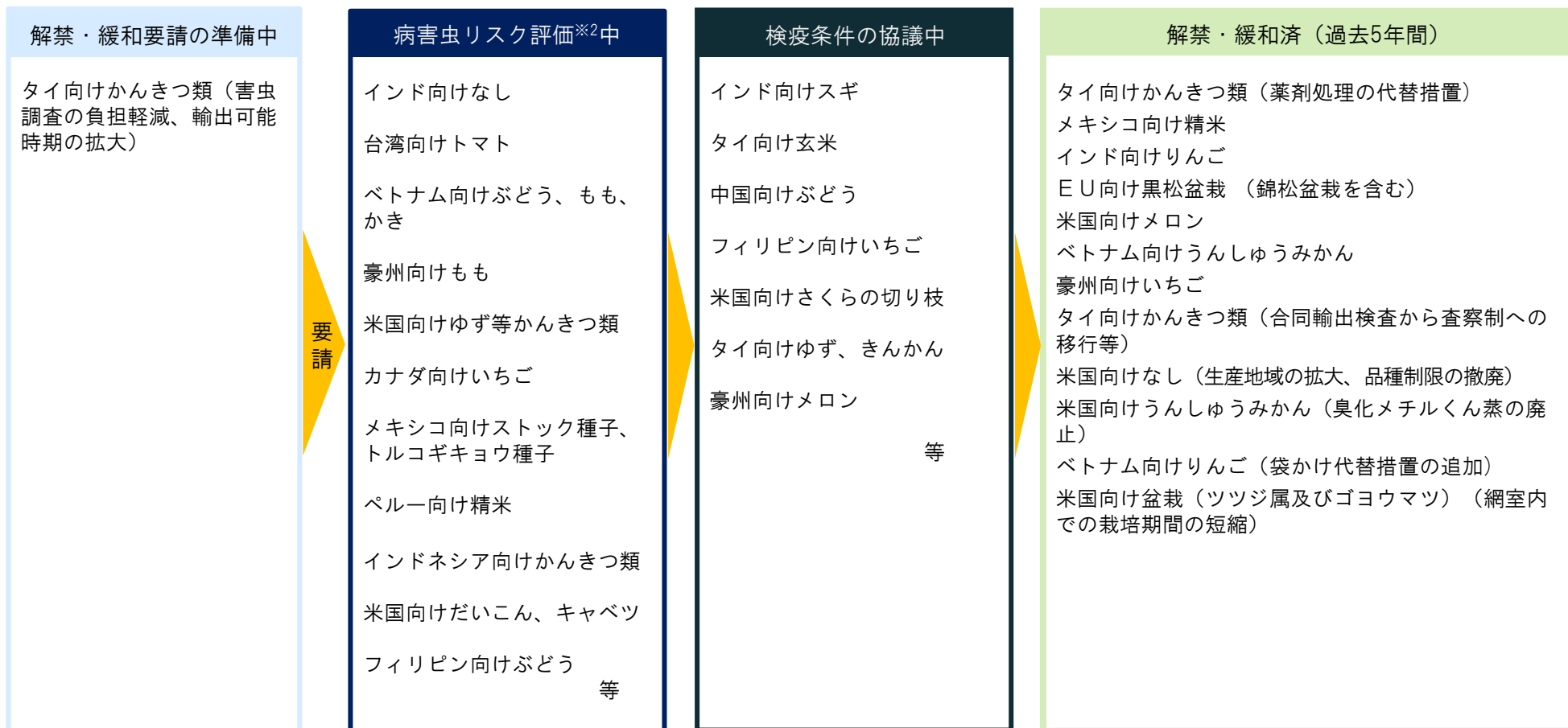
- 日本国内の豚熱・鳥インフルエンザの発生に関する、地域主義の適用の拡大及び継続
- 清浄化後の輸出再開に向けた協議

※ 1 疾病発生国であっても、疾病が発生している地域だけを輸入停止し、それ以外の清浄であると認められる地域からは輸入を認めるという概念

※ 2 施設の認定・登録を相手国政府が行うのではなく、日本政府が行うことにより、事業者の負担を軽減

植物検疫協議の状況

- 輸出植物検疫に係る協議（解禁・緩和）は、現在、15か国・43件で実施中。過去5年間※1で、7か国・12件の解禁・緩和を達成。
- 輸出先国・地域への解禁要請や協議に、引き続き関係省庁と連携して取り組む。



※1 2019年2月以降

※2 病害虫リスク評価とは、病害虫の侵入・定着・まん延の可能性やまん延した場合の経済的被害の程度を評価すること。

5. 輸出促進法に基づく適合区域の指定及び適合施設の認定

輸出促進法に基づく適合区域の指定及び適合施設の認定

○主要国向け輸出施設数（輸出促進法第17条）

品目	輸出先国	輸出施設数	認定主体
牛肉	アメリカ	16	厚労省
	EU等※1	11	厚労省
	タイ	80	都道府県等
	マカオ	77	都道府県等
水産	アメリカ	583	登録認定機関 厚労省、都道府県等
	EU等※1	118※2	農水省 厚労省、都道府県等
	中国	965	厚労省、都道府県等
	ベトナム	842	都道府県

注：令和6年1月31日現在 ※1：英国、スイス、ノルウェー、リヒテンシュタイン（牛肉のみ）を含む ※2：最終加工施設のみ

○適合区域（輸出促進法第16条）

品目	輸出先国	指定主体
ホタテ	EU等※1	北海道（7海域）、青森県（2海域）
カキ	EU等※1	広島県（1海域）
生きたカキ	シンガポール	宮城県、三重県、大分県、広島県、福岡県、北海道